

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

#### 外部評価の結果

評価	
全体を通して（特に良いと思われる点など）	
<p>・敬愛と言う名前は、愛子さま御誕生に、あやかって付けた名称です。入居者をはじめ、より多くの人々に敬われ愛されるようにという思いと、人生の先輩を大事に、大切に、尊敬しながら日々を楽しく過ごしていただきたいという強い思いが伝わるホームでした。</p> <p>・ホームの敷地は広く果樹、菜園があり、周りは、田園で囲まれ、近くに南ふれあいセンターや小学校・中学校・高等学校があり、近くに買い物もできる場所もあるなど、恵まれた環境で、明るい雰囲気を感じられる建物でした。</p> <p>・職員は、「自分で入りたいホームにしよう」という思いを持ち、日頃の介護業務の中からテーマを見つけ、自主的に研修を行い自己研鑽に努めていました。</p> <p>・経営者は、職員一人ひとりを大切に考えておられます。また、グループホームの他にも、老人保健施設やデイサービスなど、総合的にサービスを提供できるよう、考えていました。</p> <p>・オープンして1年半ですが、地域委員の研修会、実習なども受けて、グループホームの理解促進に向け、積極的に取り組まれていました。</p>	
特に改善の余地があると思われる点	
<p>全ての居室のドアは木製の引き戸で、重いため片手で開閉しにくくなっています。また、トイレのドアも重く、開閉時に入居者の方が指を挟む危険性があると思われます。事業所全体で入居者の利便性と安全性の面から検討を行う必要があるのではないのでしょうか。</p>	

<b>事業所名</b>	グループホーム敬愛
日付	平成16年12月24日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での痴呆性高齢者の看護・介護業務歴 17年 特別養護老人ホームでの痴呆性高齢者介護歴 3年
<a href="#">自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）</a>	
<a href="#">事業者のコメントを見る（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）</a>	

#### 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームとして、出合いを大切に、開かれたグループホームを、目指しています。</li> <li>・より地域との交流を深め、積極的に、地域に受け入れていただけるホーム作りを目指しています。</li> <li>・職員は、入居者の健康の維持を保ちながら、痴呆状態が少しでも進まないように願っています。1日でも長く楽しく、笑顔で、ごく自然にゆったりとした生活ができるように考えていました。</li> <li>・学生やボランティアの受け入れに加え、他施設との交流にも取り組もうとするチャレンジ精神と意欲がうかがえました。</li> </ul>		

#### ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の入居前の生活歴を家族から情報を収集し、それを入居者それぞれの記録用紙に取りまとめ、職員が共有化をはかり、日常の支援に活用しています。</li> <li>・居室へ入室の際には、必ず声かけをし、同意を得るよう配慮しています。</li> <li>・入浴時など、女性の入居者で、男性の職員の介助が嫌な方は、女性職員が介助にあたるなど、一人ひとりの気持ちを尊重した支援を行っています。</li> </ul>		

#### 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームの中に木製の手すりも取り付けられ、要所に観葉植物やソファも配置され、休息やお話もできるようになっていました。</li> <li>・職員からは、入居者一人ひとりを大切に、ゆっくりと話を聞こうとする姿勢が見受けられました。</li> </ul>		

#### ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		

#### 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から、入居者への質の高いサービス提供を念頭に、些細な事故も事故報告書に記載し、自主研修を行うなど、リスクを最小限にとどめようとして取り組まれています。</li> <li>・事業所全体でレベルアップを目指していますが、その取り掛かりとして、各ユニット間の連携に取り組もうとされています。</li> </ul>		